

佳作

ぼくがだいすきなたつきゅう

みやがわ あきら
宮川 朗

羽島市立正木小学校二年（岐阜県）

「パチン・パチン・パチン・・・。」と五十回、百回とラリーがつづくととっても気もちがいいです。

「パチコーン！パチコーン！」と何回も力いっぱいスマッシュをうちこんで、きまると、思わずガッツポーズをとってしまいます。

「グウィーン。」と回てんのいいドライブがきまると、あい手はぼくのドライブボールをはじめてしまいます。

「上・下・横・横下・横上の一体どれか。」と自分がサーブをうけるときは、「何が来る？」とドキドキしているけど、と自分がサーブを出すときには、「何を出そうか。」と考えることはとっても楽しいです。

そんな、楽しみがいっぱいのスポーツ、ぼくの大好きなスポーツは「たつきゅう。」です。一年生のときに、少年だんに入って、もうすぐれんしゅうをはじめから、二年になります。さいしよは、おねえちゃんにつれられて行っただけで、うまくできなかつたけど、今ではいろいろなサーブを出したり、はやいたまもうちかえせるようになり、みんなと同じようにれんしゅうができるようになりました。

しあいでも、いろいろな大会でかてるようになって、全国大会に

も二回でることができました。今年の全国大会では、ベスト三十二にまでなれました。コーチや友だちのお母さんたちからも、

「あきらくん、上手になったね。」

「いろんなサーブが出せるようになったね。」

とほめてもらえることが多くなりました。でも、ゆうしょうしないと、かならずしあいのさい後は、まけておわってしまいます。ぼくはまけるのが大きらいなので、しあいに行くときい後には、なみだを出していることが多いです。まけたくない。その気もちほんなしあいでもいっしょです。とくに、くやしかったのは、一年生のときの七月の全国大会です。よせんリーグで福原くんとごくんもたたかって、すべてまけてしまいました。くやくしてくやくしてなみだが止りませんでした。お家に帰ってからすぐにお父さんやお姉ちゃんと、何どもサーブやはいボールをうちかえすれんしゅうをしました。そうして、つぎの八月の、中ぶ大会では、大きな四年生の子にかつことができました。やつぱり、「がんばるとかてるんだ。」と思えました。

二年生になってから、お休みの日のれんしゅうだけではなく、木曜日と金曜日にも中学校のよるのれんしゅうに行くようになりました。さいしよは、大きなお兄さんやお姉さんばかりでドキドキしていたけど、いっしょにれんしゅうをしているうちに、なかよくなつて、たつきゅうについての話ができるようになりました。また、ゲームでもだんだんいいしあいができるようになりました。ぼくはまだ小さいから、高いところからうちこまれるとこまるけど、とくいのサーブやドライブがきまるように大きなお兄ちゃんやお姉ちゃん

んにちようせん中です。

そして、今年の七月の全国大会のぼくはぜっこうちようでした。よせんリーグで一位になると、けっしょうトーナメントでも、とくいの下回てんのうち方でかちすすみ、ベスト三十二になることができました。でも、さい後は、まけてしまつて、なみだが出てきました。また、お家に帰つてからは、お父さんやコーチたちと、何どもにが手なバックハンドやはいサーブをうちかえすれんしゅうがはじまりました。まだまだ、れんしゅうしないといけないことはたくさんありそうです。でも、れんしゅうをすると上手になるし、いろいろなところに行つて、れんしゅうやしあいをすると、友だちもたくさんできます。

来年は、一月の名古屋オープンからしあいが始まります。もつともつとれんしゅうをして、強くなつて、なかないようになり、強い友達をたくさんつくりたいです。